

会告 No.10

2024

◇通知・案内事項

○第90年会開催案内 「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集 本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2024)	(2025)
◇年会		3/12～14(東京理科大学)
◇秋季大会		
◇支部大会	11/7～8(宇都宮大学)	
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ペー ジ
2024年10月 October			
1～12/4	第29回実践化学工学講座(10/1-12/4)(大阪府)	9月13日(金)	7号14
3～4	粉体技術者養成講座 第2回【乾燥】(10/3-4)(静岡県)		7号11
3～4	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	9月25日(水)	4号13
8	入門触媒科学セミナー(10/8-9)(大阪府)	10月9日(水)	8号12
10～18	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計編(10/10, 11, 17, 18)(オンライン)	10月2日(水)	7号9
17～18	粉体技術者養成講座 第3回【粉碎】(10/17-18)(東京都)		7号11
18	セミナー「京都から次世代半導体の潮流を俯瞰する」(京都府)	9月30日(月)	9号14
19	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)	6月30日(日)	6号9
22	第48回 基礎化学工学演習講座(実験クール 追加開催)「攪拌槽内の混合現象の可視化」(愛知県)	10月11日(金)	本号11
24～25	材料化学システム工学討論会(10/24-25)(東京都)	10月18日(金)	9号13
25	第68回プロセス設計技術講演会・見学会兼令和6年度山形化学工学懇話会技術講演会(山形県)	10月13日(日)	9号14
25～26	第50回経営ゼミナール「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ!～自らを変え, 変革の波を創る～」関西セッション(10/25-26)(兵庫県)	6月30日(日)	6号10
30～31	粉体技術者養成講座 第4回【粒子加工】(10/30-31)(大阪府)		7号11
31～11/1	第58回 化学工学の進歩講習会「CO2削減, クリーンエネルギー, CCUSの研究開発フロンティアカーボンニュートラル実現に向けた産官学の取り組み」(10/31-11/1)(愛知)	7月17日(水)	8号11
1～12/4	第29回実践化学工学講座(大阪府)	9月13日(金)	7号14
2024年11月 November			
5～6	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計編(11/5-6)(千葉県)	10月4日(金)	7号9
7～8	ナノ材料の総合分析講習(11/7-8)(大阪府)	10月16日(水)	9号14
7～8	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(11/7-8)(東京都)	10月30日(水)	7号10
7～8	化学工学会 宇都宮大会2024(栃木県)	8月30日(金)	8号10
8	第11回 初歩からの化学工学数学演習講座「データ解析および時系列データ分析の基礎」(11/8-12/6)(オンデマンド)	11月1日(金)	8号11
8～9	第41回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(11/8-9)(兵庫県)	10月4日(金)	本号12
13～15	「プラント計装制御-1」講座(11/13-15)(東京都)	11月5日(火)	7号11
15	第34回化学工学一関セミナー(岩手県)	11月8日(金)	本号10
20	第55回CEシリーズ講習会「カーボンニュートラル実現に向けた炭素資源リサイクル技術開発と社会実装」(東京都)(ハイブリッド)	11月13日(水)	本号11

会告

22～23	第50回経営ゼミナール「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ！～自らを変え、変革の波を創る～」幕張セッション(10/25-26)(千葉県)	6月30日(日)	6号10
27～29	「P&IDの作り方」講座(11/27-29)(東京都)	11月19日(火)	7号11
2024年12月 December			
4～5	粉体技術者養成講座 第6回【集じん】(12/4-5)(愛知県)		7号11
11	岡山地区化学工学懇話会 2024年度化学工学基礎講習会(応用編)(12/11)(岡山県)	11月29日(金)	本号10
2025年1月 January			
10	共通基盤技術シンポジウム2025 ～クライオ電子顕微鏡技術を活用した液状材料・プロセス研究の新展開～(兵庫県)		本号9
2025年3月 March			
12～14	化学工学会第90年会(3/12-14)(東京都)		本号7

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
11月29～30日	International Symposium on Chemical Engineering 2024 (第35回化学工学に関する国際シンポジウム)(ISChE2024)(沖縄県)	7月31日(水)	6号13
12月10日	International Symposium “Blue Credit : Current Status and the Future” (国際シンポジウム ブルークレジットの現状と将来)	12月5日(木)	本号10
2025年6月30日 ～7月4日	14th World Filtration Congress (第14回世界濾過会議)(WFC14) (6/30-7/4)(Bordeaux, France)	10月15日(火)	8号8

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2024年度化学人材育成プログラム協議会(東京都他)	4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikusei/Prog/index.html
技術英語能力検定(令和六年度)(主催者が設定する全国の試験会場)	4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1955 jstc@jma.or.jp https://jstc.jma.or.jp/
2024年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業(全国(上級試験は日本機械学会会議室(東京)))	7月23日～12月6日 (火～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/cee/
第46回安全工学セミナー(東京都及びオンライン)	8月27日～ 2025年1月24日 (火～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/f81c7fc76e69b6e74bf6d30da560a48b?frame_id=991
第34回安全管理の最新動向講習会(大阪府 東京都 オンライン)	9月13日～10月4日 (金～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/e1a03e1df9480b06aed0779140ac392c?frame_id=991
第95回技術セミナー(東京都)	10月1日(火)	公益社団法人 腐 食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/95.html

第43回電子材料シンポジウム(EMS-43)(奈良県)	10月2～4日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営委員会	06-6879-7705 (06-6879-7708) imanishi@eei.eng.osaka-u.ac.jp https://ems.jpn.org/
KISTEC教育講座「微生物発電が導く未来へのサステイナブル・バイオテクノロジー」(神奈川県)	10月4日(金)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/microorganism/
見学会付き講習会「DXとGXのパラドックス～DX推進によるエネルギー需要増と見過ごされた論点～」(神奈川県およびオンライン)	10月4日(金)	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) izawa@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-109/
熱工学コンファレンス2024(山口県)	10月5～6日 (土～日)	一般社団法人 日本機械学会	03-4335-7612 (03-4335-7618) miyata@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf24/index.html
「食品ハイドロコロイドセミナー2024」「第35回食品ハイドロコロイドシンポジウム」(東京都)	10月7～8日 (月～火)	食品ハイドロコロイド研究会	03-5463-0581 sympo@food.hydrocolloids.org https://sites.google.com/view/food-hydrocolloid-org
第10回材料WEEK(京都府)	10月8～10日 (火～木)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/
第253・254回西山記念技術講座「最新シミュレーション技術の進歩と鉄鋼業への展開」(大阪府)(東京都/オンライン)	10月16～30日 (水～水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2024/nishiyama253.html
69th FRP CON-EX 2024(大阪府)	10月17～18日 (木～金)	強化プラスチック協会	03-5812-3370 (03-5812-3375) hdqtr@jrps.or.jp https://www.jrps.or.jp/
第72回レオロジー討論会(山形県)	10月17～18日 (木～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオリオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
日本コンピュータ化学会2024年秋季年会(北海道)	10月20～21日 (日～月)	日本コンピュータ化学会	0143-46-5673 (0143-46-5673) sccj2024ao@googlegroups.com https://sites.google.com/view/sccj2024autum/
2024年日本表面真空学会学術講演会(福岡県)	10月20～24日 (日～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) taikai2024@jvss.jp https://pub.conf.it.atlas.jp/en/event/jvss2024
The 10th International Symposium on Surface Science (ISSS-10)(福岡県)	10月20～24日 (日～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) iss10@jvss.jp https://www.jvss.jp/conference/iss10/
2024年度水素・燃料電池材料研究会講座(東京都)	10月25日(金)	高分子学会水素・燃料電池材料研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resg3@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=624

第19回高校化学グランドコンテスト(東京都)	10月26～27日 (土～日)	芝浦工業大学	03-5859-7985 090-6046-8361 (03-5859-7121) i049052@ow.shibaura-it.ac.jp https://s-gracon.jp/2023/
第45回日本熱物性シンポジウム(新潟県)	10月28～30日 (月～水)	日本熱物性学会	03-5452-6218 (03-5452-6219) jstp@iis.u-tokyo.ac.jp https://jstp-symp.org/symp2024/index.html
第49回コロージョン・セミナー(愛知県)	10月29～31日 (火～木)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/49.html
第61回石炭科学会議(香川県)	10月30日～11月1日 (水～金)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/977/
第74回プラスチックフィルム研究会講座(東京都)	10月31日(木)	高分子学会プラスチックフィルム研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resg3@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=627
連合年会2024(第37回日本イオン交換研究発表会・第43回溶媒抽出討論会)(茨城県)	10月31日～11月1日 (木～金)	日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会	029-228-8704 (029-228-8704) akira.ohashi.sci@vc.ibaraki.ac.jp http://www.jaie.gr.jp/00japanese/index.html#
第19回エレクトロヒートシンポジウム(WEB開催)(オンライン)	11月1～30日 (金～土)	一般社団法人日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) uyama@jeh-center.org https://www.jeh-center.org/19thEHsympo.html
SCIS & ISIS 2024(兵庫県)	11月9～13日 (土～水)	日本知能情報フレンジイ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scis.isis2024@soft-cr.org https://soft-cr.org/scis/2024/
(一社)日本高圧力技術協会 オンライン技術セミナー「水素技術基礎講座－安全な機器運用のために－」(オンライン)	11月12日(火)	(一社)日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/3#frame-43
第14回イオン液体討論会(福島県)	11月12～14日 (火～木)	イオン液体研究会	090-6495-3605 ioniquid@officepolaris.co.jp https://www.ilra.jp/14th_jsil/index.html
実用表面分析セミナー2024(兵庫)	11月13日(水)	公益社団法人日本表面真空学会 関西支部	072-781-0081 (072-781-9097) junichi.minato@nsg.com https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai_jitsuyou25/
14th International Conference of Electroluminescence and Optoelectronic Devices (ICEL2024)(京都府)	11月12～15日 (火～金)	ICEL2024実行委員会	0774-38-3152 (0774-38-3148) icel2024@moma.kuicr.kyoto-u.ac.jp https://icel2024.kuicr.kyoto-u.ac.jp/
The Second Symposium on Carbon Ultimate Utilization Technologies for the Global Environment (CUUTE-2)(奈良県)	11月12～15日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-3669-5932 ryo@isij.or.jp https://cuute2.com/
第71回材料と環境討論会(東京都)	11月13～15日 (水～金)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/71.html

第45回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2024)(北海道)	11月14～15日 (木～金)	ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2024@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2024/
酵素工学会第92回講演会(神奈川県)	11月15日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee92.enzyme-eng.com
15th International Symposium of Atomic Level Characterization for New Materials and Devices '24 (ALC '24)(鳥根県)	11月17～22日 (日～金)	日本表面真空学会 マイクロビームアナリシス技術部会	03-3812-0266 alc24@jvss.jp https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc24/
第75回白石記念講座「データ駆動型材料開発の最前線とその適用例」(東京都/オンライン)	11月21日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2024/shiraishi75.html
ケミカル マテリアル Japan 2024(東京都)	11月21～22日 (木～金)	株式会社 化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) cmj@chemicaldaily.co.jp https://www.chemmate.jp
第15回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(宮城県)	11月25～28日 (月～木)	日本機械学会	03-4335-7614 mnm2024@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2024/
No.24-103 特別講演会 海外展開する中小企業の準備(機械安全や認証の基礎知識)(オンライン)	11月26日(火)	一般社団法人日本機械学会 産業・化学機械と安全部門	03-4335-7616 (03-4335-7619) noguchi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-103/
第32回秋季大会成形加工シンポジウム'24(沖縄県)	11月27～28日 (水～木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
POWTEX2024(第25回国際粉体工業展東京)(東京都/オンライン併催(オンライン会期:2024/11/11～12/26))	11月27～29日 (水～金)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2024@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第51回炭素材料学会年会(福岡県)	11月27～29日 (水～金)	炭素材料学会	03-6824-9365 tanso-desk@conf.bunken.co.jp https://www.tanso.org/contents/event/conf2024/
日本膜学会「膜シンポジウム2024」(滋賀県)	11月28～29日 (木～金)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp https://www.maku-jp.org/symposium/
第13回潜熱工学シンポジウム(岡山県)	11月28～29日 (木～金)	日本潜熱工学会	086-251-8086 (086-251-8086) knakaso@okayama-u.ac.jp https://www.cc.okayama-u.ac.jp/latent/heat/schedule.html
腐食防食部門委員会第357回例会「非破壊検査技術の最近の進歩と設備診断への適用」(大阪府)	11月29日(金)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jim@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
2024年度 第3回ORセミナー『実験計画法の新潮流～空間充填計画, ベイズ最適化, 多目的設計探査, 機械学習の活用へ～』(東京都およびオンライン)	11月30日(土)	日本オペレーションズ・リサーチ学会	03-3851-6100 (03-3851-6055) jimukyoku@m.orsj.org https://smms.kktcs.co.jp/smms2/event/orsj/49
第38回分子シミュレーション討論会(兵庫県)	12月2～4日 (月～水)	分子シミュレーション学会	078-303-1975 (078-303-1975) washizu@sim.u-hyogo.ac.jp https://sympo.mol-sim.jp/mssj38/

第44回レオロジー講座 - 様々なソフトマターのレオロジー - (オンライン)	12月3～4日 (火～水)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) online@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第44回水素エネルギー協会 (HESS) 大会 (ハイブリッド (東京都, オンライン))	12月5～6日 (木～金)	一般社団法人水素エネルギー協会	090-7367-3695 secretary@hess.jp https://hess01.sakura.ne.jp/3_activity/mo/44hess_annai.pdf
第38回数値流体力学シンポジウム (東京都)	12月11～13日 (水～金)	日本流体力学学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd38@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd38/
第33回微粒化シンポジウム (広島県)	12月17～18日 (火～水)	日本液体微粒化学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) infomation_atmz@ilass-japan.gr.jp https://www.ilass-japan.gr.jp
分離技術会 年会 2024 (島根県)	12月19～20日 (木～金)	分離技術会	044-874-0337 (044-874-0338) jimuj@sspej.gr.jp https://mtg.sspej.org/
International Symposium on Green Transformation Initiative and Innovative Zero-Carbon Energy Systems (GXI-ZES) (東京都)	2025年1月 14～16日 (火～木)	東京工業大学科学技術創成研究院ゼロカーボンエネルギー研究所およびグリーントランスフォーメーションイニシアティブ (Tokyo Tech GXI)	03-5734-3284 (03-5734-3284) gxi-zes@zci.iir.titech.ac.jp https://gxi-zes.org/
第37回自律分散システム・シンポジウム (山口県)	2025年1月 15～16日 (水～木)	計測自動制御学会システム・情報部門 自律分散システム部会	083-933-5691 das37th@gmail.com https://sites.google.com/sice-das.org/das37th
第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス (東京都)	2025年1月 28～29日 (火～水)	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) gyoji@jsr.gr.jp https://www.jsr.gr.jp/
ISPlasma2025/IC-PLANTS2025 (愛知県)	2025年3月 3～7日 (月～金)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2025@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/ (近日公開)
第4回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (英文名) The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025) (兵庫県)	2025年7月 1～4日 (火～金)	日本計算工学会 (JSCES), 日本計算力学連合 (JACM)	078-940-5541 compsafe2025@compsafe2025.org https://www.compsafe2025.org/
第8回材料界面の評価と制御に関する国際会議 The 8th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2025) (山梨県)	2025年7月 8～11日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 045-339-3957 iccci2025@ynu.ac.jp https://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2025/

第90年会 開催案内

「一般研究発表」講演募集 「シンポジウム」企画募集

会場：東京理科大学 葛飾キャンパス(〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1)
(一部ライブ配信併用の予定)

会期：2025年3月12日(水)～3月14日(金)

講演申込期間：2024年11月1日(金)～12月22日(日)23:59

大会Webサイトからの申込に限ります。

講演要旨原稿提出期間：2025年1月6日(月)～2月12日(水)23:59 必着

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。

一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会Webサイト URL：<https://www4.scej.org/meeting/90a/>

化学工学会第90年会は、2025年3月12日(水)～14日(金)の3日間、東京理科大学葛飾キャンパスにおいて開催されます。(一部ライブ配信併用の予定です。今回の年会では、一般研究発表に加え、産業セッション、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」、国際シンポジウム(英語セッション)を行います。その他のシンポジウムも企画中です。多数のご参加、講演申込をお願いします。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成してください。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。)

注意点

○インターネット配信・オンライン参加について
本大会ではオンサイト開催を基本とし、一部ライブ配信併用で実施する予定です。一般研究発表は、全てオンサイト開催を予定しております。従いまして、オンライン参加はライブ配信対象講演に限られます。ご注意ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・オンサイト参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

○講演発表申込時の発表者事前了解について
必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(*)保有有無について
発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありません

が、資格を持っておられる方は是非ご協力ください。

(※上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載ください。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

講演申込について

○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会
名誉会員
正会員(シニア会員、永年会員を含む)
学生会員(ジュニア会員を除く；ただし、修士課程以下の学生はポスター発表のみ)
教育会員
海外会員(海外正会員、海外連携会員、海外学生会員)
法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員)
共催学会の個人会員
特別講演者および招待講演者、依頼講演者
中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会(KIChE)、台湾化学工程学会(TwIChE)、インド化学工学会(IICHE)、ドイツ化学工学学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHe)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会Webサイト(<https://www.scej.org/>)をご参照下さい。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。
3) なお、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」の申込資格、講演内容等の詳細については、後述します。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込み下さい。講演申込期間は、2024年11月1日(金)から12月22日(日)です。大会Webサイトからの申し込みに限ります。なお、講演申

込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承ください。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管してください。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。

なお、講演プログラムの編成上、申し込み時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。

○申込時の注意事項

*講演申込期間以外は受理できません。
*JISコードのない日本語文字は使用しないでください。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないでください。
*講演申込一件分をひとつずつ送信してください。
*二重送信は絶対にしないで下さい。
*申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。
*申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。
*プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
*最終日はサーバーが非常に混雑し、申込が出来ない事態の生じることが予測されます。余裕をもってお申し込み下さい。
*大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

○講演分類

申込時には、下記の分類とともにキーワード(英語)を3つ入力して下さい。

○一般研究発表

[1. 基礎物性]

平衡物性・輸送物性、固体物性、薬品の毒性・引火点、エンジニアリングデータ

[2. 粒子・流体プロセス]

熱物質流体工学、攪拌・混合操作、流動層技術、気泡塔・懸濁気泡塔、混相流、粉体プロセス

[3. 熱工学]

熱的単位操作、燃焼・プラズマ・伝熱、熱交換器、各種エネルギーシステム、マイクロおよびバイオテクノロジーへの伝熱・輸送現象の展開

[4. 分離プロセス]

膜工学、固液分離、蒸留、吸収、吸着・イオン交換、抽出、晶析、乾燥、特殊分離法

[5. 反応工学]

触媒反応工学、ソノプロセス、活性種化学、反応分離、反応装置、マイクロ化学プロセス、CVD・ドライプロセス

[6. システム・情報・シミュレーション]

プラントオペレーション、プロセスエンジニアリング、プロセスダイナミクス応用、プロセス制御、最適化手法、情報処理技術

[7. バイオ]

生物プロセス、生体反応、生物分離、遺伝子、メディカル、生物情報、環境生物、食料・食品

[8. 超臨界流体]

単位操作、基礎物性、分離・抽出、反応・物質変換、材料創製・製造、環境負荷低減プロセス

[9. エネルギー]

エネルギー開発、蓄熱・増熱・熱輸送技術、炭素系資源利用、熱エネルギー利用、新エネルギー・エネルギーシステム

[10. 安全]

リスクコミュニケーション方法、オペレーション設計法、安全設計、変更管理、安全性評価手法、安全技術伝承、少人化・無人化問題、物質安全

[11. エレクトロニクス]

電気化学プロセス（電池、めっき、等）、電子材料プロセス（半導体製造、電子回路製造、等）、微細加工技術（エッチング、薄膜形成、等）、高信頼性設計（高放熱、短絡現象、等）、インターコネクション技術（接着、接合、等）、環境持続可能技術

[12. 材料・界面]

界面制御、エマルジョン、機能的微粒子、ナノ粒子、ゲルテクノロジー、マイクロカプセル、晶析、塗布技術、微細構造形成・複雑分子集合体、機能化高分子素材、材料プロセス、材料レオロジー

[13. 環境]

水環境プロセス、排水処理技術、化学物質のリスク・管理、循環型社会設計手法、リサイクル技術、地球環境、CO₂問題、地球全体の炭素循環

[14. 広領域]

テクノロジー・マネジメント、経済評価・市場調査、教育、JABEE、その他

- 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出（アップロード）して下さい。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚（1ページ）です。ただし、20分を超える講演は2枚（2ページ）です。
- 原稿1ページの書式は以下を基準とします。全体体裁：2段組み、24字×49行×2段＝2352字、段間の間隔6mm
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm
字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦251mmの中に全内容を納めて下さい。
- 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm（9文字分）、上マージンから21mm（4行分）を空白にしておいて下さい。
- 講演題目は、1行目の左マージンから31mm（9文字分）空けて、本文より大きく書いて下さい。
- 研究者氏名を「(所属略称) (会員資格・保有している取得化学工学会資格) 氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、海外(正・連携・学生)会員は(海)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し、その他の場合は書かないで下さい。保有している化学工学会資格は7)を参照してください。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけて下さい。
(例) (農工大工) ○(正・技士) 化工一郎 *・(学) 東京花子・小金井太郎
- 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記してください。化学工学修習士：修習、化学工学技士(基礎)：技基、化学工学技士：技士、上席化学工学技士：上技。
(例) (正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等
- 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし、2ページの原稿の場合、2ページ目は1行目から書いて下さい。
- 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

<PDFファイルに関する注意点>

- ファイルサイズは1229 kB以下にして下さい。
- セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出（アップロード）してください。
- PDFファイルの提出（アップロード）には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます（受理通知が再送されます）。
- 締切日までの間は、何回でも「提出（アップロード）」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

<講演要旨原稿提出時の注意事項>

- * 締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演、依頼講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集（別売り）に掲載いたしません。
- * 締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について

化学工学会では、化学工学会Webサイト（会員専用ページ）の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3カ月後です。

発表方法（一般研究発表）について

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載致します。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護について

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨並びに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト（<https://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>）をご確認ください。また、第90年会の講演要旨公表日は2025年2月26日(水)です。

広告・プロモーションビデオ・オンライン展示の募集(予告)

バナー広告、オンライン展示、プロモーションビデオ掲載、コマーシャル放映等を募集いたします。詳細は次号会告および大会Webサイトをご覧ください。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

「SCEJ」冠シンポジウム

個別企業の名前でセッションを開く、企業冠シンポジウムを募集します。各企業の化学工学に関する技術や将来ビジョンを発表いただく機会です。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

「産業セッション」

第80年会(2015年)より継続して開催している「産業セッション」を本大会でも実施いたします。産業界出身の委員によってテーマ設定され

講演要旨原稿について**○作成・提出方法**

講演要旨原稿の提出期間は、2025年1月6日(月)から2月12日(水)23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出（アップロード）して下さい。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名（連名発表者全員）が申込時のそれらと異なるように注意して下さい。異なっている場合はプログラム（大会webサイト、講演要旨集、冊子）に反映されることがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル（Microsoft Wordファイル）を掲載します。ご利用ください。

た複数の口頭セッション、ポスターセッションから構成されます。今、産業界の関心事は何なのか、何を考えよう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。是非ご参加ください。

開催日等詳細については大会Webサイトをご覧ください。尚、発表テーマは公募していませんが、発表ご希望の方は産業セッション事務局までお問い合わせください。

シンポジウム「化学産業技術フォーラム」

本フォーラムで発表いただくことにより、発表企業にとって技術や製品の宣伝のみならずその存在感を示すことでビジネスへの発展が大いに期待できます。また企業イメージを学生に具体的かつ積極的に発信することができます。是非積極的にご発表ください。

なお、シンポジウムの一部についてはテーマの公募を行います。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

○参加・発表

「化学産業技術フォーラム」への参加・発表には、年会への参加登録が必要です（追加料金不要）。

○講演申込資格

年会要領に準じます。ただし、学生の発表はできません。

○講演の内容

- ・特許化したもの、企業化したもの、新聞発表したものも可とします。
- ・企業戦略、知的財産戦略などの関連から、「物質A、B、C」などによる発表も可とします。

○講演募集セッション、講演申込方法および締切、講演要旨原稿の作成要領、講演要領、等、詳細については大会Webサイトにてご確認ください。

国際シンポジウム | 英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムです。アジア国際賞受賞記念講演を含むセッションも予定されています。なお、すべての国際シンポジウムは年会内のセッションであるとともに、併催する国際会議International Chemical Engineering Symposiaの一部となります。

国際会議「International Chemical Engineering Symposia」

年会に合わせ、国際会議 International Chemical Engineering Symposia が併催されます。年会での国際シンポジウムはこの国際会議の一部となります。一般講演も募集します。詳細については学会ホームページ等を通じて後日お知らせいたします。

問合せ先

化学工学会第90年会実行委員会
E-mail : inquiry-90a@www4.scej.org

部 会 C T

共通基盤技術シンポジウム2025 ～クライオ電子顕微鏡技術を活用した液状材料・プロセス研究の新展開～

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび化学工学会 材料・界面部会と、日本顕微鏡学会 液状材料の微細構造研究部会は、合同で題記シンポジウムを開催することといたしました。

研究対象の構造を把握することは、対象を理解する上で重要なステップになります。液体を含む試料の場合、試料を急速凍結してその構造を観察する「クライオ電子顕微鏡手法」があり、2017年のノーベル賞受賞の例にもあるように、主に生体・細胞分野の研究において広く活用されています。一方、液状材料やプロセスなどの研究においても、その構造や非平衡現象の理解する上で直接的に観察・解析する必要性が高まっています。このような背景から「クライオ電子顕微鏡手法」は、液状材料・プロセス分野における構造理解・解析の研究の進展とともに、工業製品の開発においても有効な手段になることが予想されます。

そこで今回、顕微鏡分野と材料・プロセス分野の専門家が一堂に会して、クライオ電子顕微鏡技術を液状材料・プロセス研究に適用するうえでの狙いや課題について、包括的に議論する場を設けることといたしました。本シンポジウムの後半では、立食形式でポスターを囲みながら意見交換できる機会の準備もしております。

皆様のご参加、活発な議論のほど、よろしくお願い申し上げます。

日時 2025年1月10日(金)

講演：10:00～16:00

意見交換会 (w/ポスター、立食形式)：16:30～19:00

場所 神戸大学 瀧川記念学術交流会館

講演(予定)

講演タイトル(仮)	講師
1. クライオ電子顕微鏡による非定常・非平衡現の可視化解析の可能性	
非平衡現象の可視化	今井英人(FC Cubic)
クライオ電子顕微鏡による人工設計タンパク質ナノ粒子TIP60の立体構造解析	新井亮一(信州大学)
ソフトマテリアル研究分野におけるクライオ電子顕微鏡	西野有里, 伊藤喜子, 宮澤淳夫(兵庫県立大学)
2. クライオ電子顕微鏡を活用した非平衡現象可視化の試み、解析事例	
水中におけるCNT分散状態制御とCryo-TEM観察	菰田悦之(神戸大学)
水膨潤状態のハイドロゲル微粒子のナノ構造解析	鈴木大介(岡山大学)
3. 非平衡現象可視化における課題	
クライオ電子顕微鏡の有機液体への拡張と課題	岡田賢(海洋研究開発機構)
放射光X線CTを用いたマルトデキストリン溶液中の凍結濃縮相の観察と解析	中川究也(九州大学)
急冷凍結により得られる非晶質状態の物理安定性	川上亘作(物質・材料研究機構)

※プログラムや参加申し込み方法など、詳細につきましては学会ホームページ等 (<https://www.scej-dmi.org>)にて10月下旬ごろにお知らせいたします。

オーガナイザーチーム

化学工学会 材料・界面部会：

菰田悦之(神戸大学), 山村方人(九州工業大学), 渡邊貴一(岡山大学)

日本顕微鏡学会 液状材料の微細構造研究部会：

高橋真一(兵庫県立大学), 鳥貫純一(日産アーク), 宇部卓司(JFEテクノロジー)

お問い合わせ

化学工学会 材料・界面部会事務局：

渡邊貴一(岡山大学) : scej-dmi@okayama-u.ac.jp

日本顕微鏡学会 液状材料の微細構造研究部会：

高橋真一(兵庫県立大学) : takashin181@gmail.com

岡山地区化学工学懇話会 化学工学基礎講習会(応用編)

主催 岡山地区化学工学懇話会
協賛 化学工学会 中国四国支部

2024年度化学工学基礎講習会(応用編)を下記のとおり開催いたします。皆様奮ってご参加ください。

日時 令和6年12月11日(水)13:25~16:30
場所 DOWAエレクトロニクス岡山株式会社 研究棟1号館 大会議室
(〒702-8506 岡山市南区海岸通1-3-1)
講演テーマ 「熱工学(実践編)」

岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 准教授 中曾 浩一氏
概要 伝熱の三基本形態(伝導, 対流, 放射)について概説した後, 実際の場面でありそうな伝熱現象について演習問題を交えて解説します。非定常熱伝導, 断熱材の断熱効果, 伝熱促進, 温度計測法などを取り扱い, 最後に, 本講義で取り扱った内容を振り返りながら, エネルギー有効活用について理解を深めたいと思います。
※講習ではエクセルで計算する演習問題を予定しています。PCが無くても参加可能な講習内容となっておりますが, 可能な方はエクセルが使用できる ノートPC等をご持参ください。

参加費
5,000円(岡山地区化学工学懇話会会員)
8,000円(化学工学会会員)
10,000円(非会員)

申込締切
令和6年11月29日(金)

申込方法
(1)E-mailにて申込みの場合
「12/11(水)の基礎講習会に参加します。○
○△△, 車の台数:□台」(○は企業名 △は氏名)を記載し事務局宛てに返信。複数の場合, 参加者全員の氏名を記載。
(2)FAXにて申込みの場合
参加申込書(HPの開催案内2ページ目)を FAXにて事務局宛てに送付。

問合せ先
〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学大学院環境生命自然科学研究科内
岡山地区化学工学懇話会事務局 後藤・大谷
TEL/FAX: 086-251-8083
E-mail: konwakai@optic.or.jp
Web: <https://www.optic.or.jp/kakou-konwakai/>

国際シンポジウム ブルークレジットの現状と将来

ブルーカーボンは二酸化炭素吸収源強化の重要な選択肢として注目されています。特に海に囲まれた我が国においては, ブルーカーボンの増強とそのクレジット(ブルークレジット)の利用に大きな期待が寄せられています。また, アジア諸国での取り組みもさかに行われています。本シンポジウムでは, 国内外の最前線で活躍されている皆様から, ブルーカーボン創出に関する科学的側面や社会実装に向けた取り組みをご紹介します。

主催 公益社団法人 化学工学会 環境部会水環境分科会
後援 広島県公立大学法人 鞆啓大学
協賛 公益社団法人 化学工学会 中国四国支部, 公益社団法人 日本水環境学会 中国・四国支部
オーガナイザー 下ヶ橋雅樹(鞆啓大学), 中井智司(広島大学), 末永俊和(広島大学)

日時 2024年12月10日(火)9:20~15:00
場所 鞆啓大学(広島市中区鞆町1-5, 広島駅から徒歩10分)
参加費 無料

言語 日英(鞆啓大学学生による逐次通訳)
開催形態 対面+リモートのハイブリッド開催
申込方法 以下のフォームにてお申し込みください。申込締切は12月5日(木)です。
<https://forms.gle/WrGgqdiQpDR3RUhg8>



お問い合わせ bsymp2024@eikei.ac.jp あるいは e-mail でお願いたします。

プログラム
司会: 末永 俊和(広島大学)

9:20~9:25
開会・主催者挨拶(下ヶ橋 雅樹(鞆啓大学))
9:25~9:30
有信 睦弘氏(鞆啓大学学長)挨拶
9:30~10:15
道田 豊氏(鞆啓大学参与, 東京大学 総長特使(国連海洋科学の10年担当), ユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)議長)
UNESCO IOC's strategy on marine policy including the promotion of blue carbon(IOCにおけるブルーカーボン及び海洋政策の取組み)(英語)
10:15~11:00
Dr. Lindsay Young (Professor, Philippine University / The Vice President of Research for Pristine Seas program, The National Geographic Society)
A Blue Carbon map for the Philippines: results from a country wide survey of restoration projects (英語)
11:00~11:10 休憩
11:10~11:55
浅野 晃平氏(ひろぎんエリアデザイン株式会社 企画・広報グループシニアマネージャー)
ブルーカーボンクレジットに対する企業の反応(日本語)
11:55~12:40
小杉 知佳氏(日本製鉄株式会社技術開発本部 先端技術研究所 課長)
鉄鋼副産物を用いたブルーカーボン創出に向けた取り組み事例の紹介(日本語)
12:40~13:50 昼食
13:50~14:35
酒井 裕司氏(工学院大学先進工学部環境化学科 准教授)
マングローブ植林・再植林によるブルーカーボン貯留(日本語)
14:35~14:55
総括
14:55~15:00 閉会(中井 智司(広島大学))

地 域 C T

東北支部

第34回化学工学一関セミナー —先端材料開発の最前線—

今回のセミナーでは, 「先端材料開発の最前線」というテーマを設定しました。私達の生活に欠かすことができないセンサ・医療材料・電池材料などは, 各国で積極的に研究が進められています。本テーマに関して, 我が国において第一線でご活躍されている2名の先生にご講演いただきます。ぜひ, 多くの皆様方に参加くださいますよう, ご案内申し上げます。

主催 岩手化学工学懇話会, 一関工業高等専門学校
共催 化学工学会東北支部, 粉体工学会東北談話会, 一関高専教育研究振興会
後援 公益財団法人岩手県南技術研究センター
日時 2024年11月15日(金)15:10~17:00
会場 一関工業高等専門学校 第一講義室(一関市萩荘字高梨)
(一ノ関駅よりタクシー約10分)

プログラム
開会挨拶 (15:10~15:15)
講演①「ナノ材料を用いたガスのセンシングと医療デリバリー」(15:15~16:00)
(国立研究開発法人 物質・材料研究機構 ナノアーキテクトニクス材料研究センター ナノ材料分野

フロンティア分子グループ 主幹研究員) 石原 伸輔氏
休憩・換気 16:00~16:05
講演②「厚膜積層・同時焼成プロセスを用いた全固体電池の開発」(16:05~16:50)
(TDK株式会社 技術・知財本部 応用製品開発センター エネルギーユニット開発部第2開発室 室長) 佐藤 洋氏

参加費 無料
申込み先 下記までお申し込み下さい(締切り11月8日(金), 当日受付も可)
〒021-8511 一関市萩荘字高梨
一関高専総務課総務係
TEL: 0191-24-4704 FAX: 0191-24-2146
E-mail: s-somu@ichinoseki.ac.jp

送信先：
一関高専総務課総務係 宛
FAX：0191-24-2146 (TEL：0191-24-4704)
E-mail：s-somu@ichinoseki.ac.jp

第34回化学工学一関セミナー参加申込書

開催日：11月15日(金)15:10～
場所：一関高専 第一講義室

2024年 月 日

(下記事項にご記入下さい)

【セミナー参加について】

所属	
連絡先	電話 FAX E-mail
※お手数ですが、以下に御参加される方のお名前をご記入願います。	
氏名	

関 東 支 部

第55回 Continuing Education シリーズ講習会 カーボンニュートラル実現に 向けた炭素資源リサイクル 技術開発と社会実装

主催 (公社)化学工学会関東支部
協賛 (公社)化学工学会地域連携カーボン
ニュートラル推進委員会、高分子学会、
日本化学会、石油学会、廃棄物資源循環
学会、資源・素材学会、環境科学会、エ
ネルギー・資源学会、無機マテリアル学
会、日本鉄鋼協会、日本エネルギー学会、
他

2050年カーボンニュートラル(CN)実現に向け
た重要課題の1つである、プラスチック製品な
ど石油化学由来の各種製品の炭素資源リサイ
クルの実現には、個々の要素技術と化学プラ
ントなどの事業所における実装に向けてのシ
ステム構築が重要です。本講習会では、まず【
第一部 基礎編】にて、石油化学産業由来の
各種製品の炭素資源リサイクル(ケミカルリ
サイクル(CR)・マテリアルリサイクル(MR))
の背景や制度・政策、その要素技術などを
解説します。【第二部 システム構築編】
では、これらの技術の社会実装に向けた資
源回収や再資源化などを含むシステム構築
を目指した展開を紹介いたします。

炭素資源リサイクルの全体像から要素技術
にわたる幅広い基礎的な項目と企業におけ
る実装化に向けた貴重な事例を1日で網羅
する充実した内容となっています。化学メ
ーカーのみならず、石油・燃料・素材・セ
メント・鉄鋼・輸送機器・電機等のメー
カーで勤務されるエンジニアや技術系管
理職の方、また化学工学系大学院生など
、皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時 2024年11月20日(水)9:30～18:00
会場 東京理科大学 13号館 森戸記念館 地下1
階 第1フォーラム
およびZoomによるハイブリッド開催
住所 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂
4-2-2 <https://www.tus.ac.jp/tuslife/campus/kagurazaka/>
オンライン形式でご参加の場合、URLな
どの詳細はお申し込み後にご案内します。

定員 80名(定員になり次第募集を締め切りと
させていただきます。参加方法として会場または
オンラインを選択してお申し込み下さい)

参加費 正会員(協賛団体含む)13,000円、法人
会員18,000円、学生会員2,000円、会員外
28,000円、サロンメンバー6,000円
なお、それぞれの参加費には消費税・テキスト
代が含まれます。

申込方法 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の
次回行事開催一覧の「第55回 Continuing
Education」をクリック後、「参加申込みフォー
ム」をクリックするとフォームのウインドウが
開きますので、必要事項を記入の上、ご送信
ください。

申込締切日 2024年11月13日(水)
申込先 公益社団法人 化学工学会関東支部事
務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生
命文京小日向ビル4階

TEL：03-6801-5563 E-mail：info@scej-kt.org

支払方法 受付後、請求書に基づき事前にお振
り込みください。参加費振込後は、理由
の如何を問わず返金できませんので、ご注
意ください。

プログラム

- 開会の挨拶(9:30～9:40)
企画幹事 東京工業大学大学院 松本 秀行

- 資源循環におけるプラスチックリサイクルの
価値(9:40～10:10)

【第一部 基礎編】

- 東北大学大学院 吉岡 敏明氏
3. プラスチック/バイオマス/減圧残油の共熱
分解(10:10～10:55)

東北大学大学院 熊谷 将吾氏
休憩(10:55～11:10)

4. ポリオレフィン系プラスチックのケミカル
アップサイクル用固体触媒の開発(11:10～
11:55)

大阪公立大学 田村 正純氏
昼食(12:00～13:10)

5. ポリウレタンのケミカルリサイクル法の開拓
状況(13:10～13:55)

長崎大学 本九町 卓氏
6. イオン液体を用いたプラスチックの解重合と
バイオマス変換(13:55～14:40)

- 山口大学 上村 明男氏
7. 物理劣化・物理再生理論による高度マテリア
ルリサイクルとサーキュラーエコノミー
(14:40～15:25)

福岡大学 八尾 滋氏
質疑応答(15:25～15:45)、休憩(15:45～16:00)

【第二部 社会実装編】

8. 亜臨界水処理による混合プラからのオレフィ
ン分離技術(16:00～16:30)

東西化学産業株式会社 秋元 啓太氏
9. プラスチック製容器包装のリサイクルプロセ
スの高度化と社会実装への取り組み(16:30～
17:00)

株式会社富山環境整備 今井 麻美氏
休憩(17:00～17:10)

10. 家電混合プラスチックの高度選別技術と自
己循環リサイクル推進(17:10～17:40)

三菱電機株式会社 井関 康人氏
質疑応答(17:40～18:00)、名刺交換会(対面参加
のみ18:00～18:30)

東 海 支 部

第48回 基礎化学工学演習講座 (実験クール 追加開催) 「攪拌槽内の混合現象の可視化」

主催 (公社)化学工学会東海支部
共催(予定) 静岡化学工学懇話会他
協賛(予定) (公財)中部科学技術センター他

日時 2024年10月22日(火)10:00～15:00(昼
食休憩：12:00～13:00)

対象 若手・中堅の技術者の方で、特に化学工
学における実験・実技の経験を深めたい方。
攪拌槽内における流動現象のイメージを実感
として掴みたい方。初めて化学工学を学びた
い方。初めてプラント設計、運転に携わる方。
高卒程度の知識がある方。攪拌槽内で生じる
混合現象を可視化により体感します。

昨今では、AIやIoTなどを踏まえつつスマ
ート化を目指した化学プラント構築の模索が行
われておりますが、化学工学の理論との整合性
を踏まえて実装する必要があります。また、高
純度化を目指すプラント設計やトラブル解決の
ためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術
者の存在は、ますます重要となっております。

本講習会では、化学工学における単位操作
として重要な攪拌・混合を題材に、攪拌槽内
にお

ける混合現象を可視化によって実験的に体験できるツールを用意しました。プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機会がなかった初心者の方、さらに専門的な知識を習得したい技術者の方まで、ぜひ受講をご検討ください。

実験内容

- ・低粘度流体における邪魔板効果の観察&動力測定
- ・攪拌翼の性能比較
- ・高粘度流体に発生するドーナツリング現象の観察
- ・攪拌槽内における流脈の観察

講師 名古屋工業大学 生命・応用化学科 教授 加藤 禎人氏

開催場所 名古屋工業大学 1号館4階 攪拌実験室

(JR中央線・名古屋市営地下鉄鶴舞線の鶴舞駅より東へ徒歩約10分)

<https://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

定員 12名 (1社からの同時ご参加人数について、別途ご相談申し上げます)

会員特典 化学工学会正会員、ならびに法人会員会社社員の方は、本講座の受講者に限り、テキストを特別販売いたします。

*テキスト：『化学工学 改訂第3版』(朝倉書店)税込2,750円→1,000円

テキストをお持ちでない場合は、参加費にテキスト代を加えてお申し込み下さい。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申し込み下さい。

<https://scej-tokai.org/>

本イベントの参加お申込みは、Payventにて受付いたします。お申し込みと同時に参加費をお支払いいただけます。(Payvent = 学会イベントシステム決済運営会社：(株)Urbs)

申込締切 2024年10月11日(金)

参加費(消費税を含む)

化学工学会正会員	¥15,000
化学工学会法人会員会社社員	¥20,000
共催・協賛団体会員	¥25,000
会員外	¥50,000

問合せ先 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室 室内

<http://scej-tokai.org/>

TEL：080-4525-3070

参加の際の注意

筆記用具、ノートのほか、関数電卓、定規を使用する場合がございますのでご用意ください。

関西支部

第41回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー

主催 化学工学会関西支部、化学工学会SIS部会プラントオペレーション分科会

日時 2024年11月8日(金) 13:00~9日(土) 16:00(1泊2日)

会場 (株)ダイセル 西播磨研修センター [兵庫県赤穂郡上郡光都3-14-1]
<交通> JR山陽線、山陽新幹線相生駅よりバスで30分、タクシー20分

スケジュール

第1日：11月8日(金)13:00~

1. 開会あいさつ、オリエンテーション
2. 講演「プラントオペレーションにおけるAIと人間の協働」 (東京農工大)山下 善之氏

3. グループ討議 テーマ「デジタル技術を踏まえた監督者のあり方」

①現場力の維持向上、②現場の安全確保、③技術伝承/若年者教育の進め方、④未来工場でのオペレーション、⑤その他(参加者希望テーマから)のサブテーマを設定し、参加者希望のグループに分かれて討議します。

第2日：11月9日(土)9:00~16:00

4. グループ討議の続きとまとめ

5. グループ討議結果の発表と質疑、講評

アドバイザー(予定)

伊藤利昭氏(元名工大)、金 尚弘氏(東農工大)、黒岡武俊氏(富山大)、鈴木 剛氏(元東洋エンジ)、武田和宏氏(静岡大)、野田 賢氏(福岡大)、濱口孝司氏(名工大)、林 勇佑氏(東京大)、山場久昭氏(宮崎大)

参加費 化学工学会会員41,000円、会員外51,000円(何れも消費税含む)

申込締切日 10月4日(金) ただし、定員(50名)予定、先着順になり次第締切

申込方法 下記URLの参加申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=42517>

参加費は、銀行振込 [りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 公益社団法人化学工学会 関西支部]名義にご送金ください。

注意事項

- ・参加者には、10月下旬頃、詳細スケジュール等の案内、テーマ内容に関する資料を送付します。
- ・開催2週間前以降のキャンセルは50%、同3日前以降は100%のキャンセル料を申し受けます。

申込先 公益社団法人化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL：06-6441-5531、FAX：06-6443-6685

E-mail：apply@kansai-scej.org